

# いちのみやの芸術文化

- 特集「美濃路 萩原宿」
- 「エッセイ」島々の輝き  
洋画部門／一宮美術家協会／洋画部 大島信人
- 「活動」茶の心実践にうつして  
茶道部門／裏千家 山田宗静
- 役員紹介・加入団体一覧
- これからの催し



大正時代の萩原市場(部分)  
〔中島郡名所旧跡写真帖より〕

2018.6

第45号

一宮市芸術文化協会

ICHINOMIYA Arts and Culture Association

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

## 美濃路 萩原宿

一宮市内には美濃路の宿場町として起宿と萩原宿があります。渡船場があり、史料が多く残る起宿の方がよく知られているかもしれませんが、萩原宿にも起宿にはない特色がありました。萩原宿は美濃路七宿の中では最も規模の小さい宿場です。江戸時代より以前は、萩原川（日光川）の渡船場がありました。その跡は萩原より北に位置する天神社付近とされ、対岸の西萩原にも天神社があります。本陣は森権左衛門家、脇本陣は森半左衛門家が務めていました。荷物の継立を担う問屋は二軒あり、上の問屋は鶴飼家、下の問屋は木全家が務めていました。現在、本陣跡に萩原宿本陣跡の石碑（写真1）が、上の問屋場跡に萩原宿問屋場跡の石碑（写真2）が建てられています。本陣跡の石碑は目立たないので注意が必要です。昭和五年（一九三〇）に発行された『萩原町誌』によると、昭和初期

には本陣も脇本陣の家もすでになくなっていました。そのため、宿場に関わる史料はそれほど多く残っていません。

写真1 萩原宿本陣跡



写真2 萩原宿問屋場跡



明治二十四年（一八九一）の濃尾地震により萩原宿の町並みも壊滅したため、宿場時代の名残は薄いものの、街を歩くと古い町屋建築の家は何軒見ることが出来ます。また、萩原宿の北にある宝光寺に残る宝暦年間の森半兵衛の歌碑（写真3）

は脇本陣の唯一の痕跡です。なお、宝光寺には濃尾地震の震災記念碑（写真4）が残っています。このような震災記念碑や慰霊碑は市内では萩原を含め三ヶ所（本町通の地藏寺、三条の蓮光寺）にあります。

写真3 森半兵衛歌碑



写真4 震災記念碑



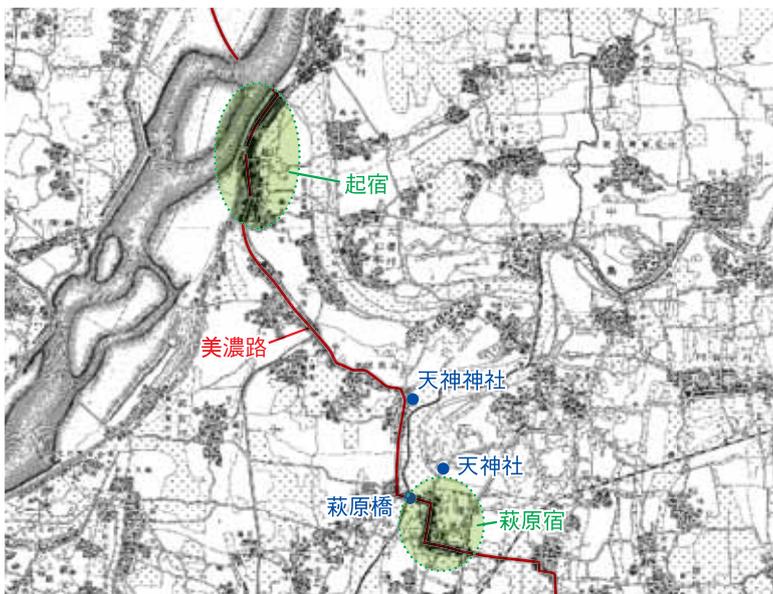
萩原宿は一宮から津島に続く巡見街道が交わり、西中野渡船場に続く多良街道の始点という陸上交通のターミナルでもありました。そのため、萩原宿には幕府巡見使や多良（岐阜県上石津多良）に

領地を持つ交代寄合の高木家の通行もありました。さらに、明治時代中期には、竹鼻方面への近道として加賀野井街道も新設されています。

明治三十三年（一九〇〇）には尾西線も開通し、津島や一宮への移動も便利となりました。明治十五年以降は毎月二十七日に市場も開かれ、賑わっていた様子が大正時代の写真に写し出されています。

（一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史）

◀明治20年代の起・萩原の地図



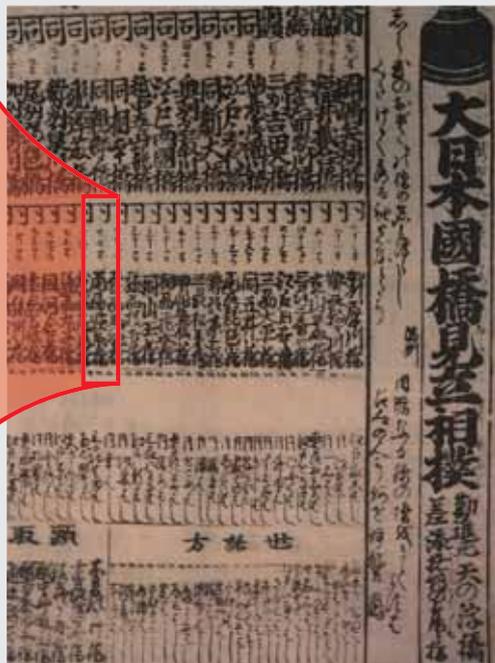
（明治24年陸地測量部二万分の一地形図「竹鼻町」より）

## 名橋萩原橋

萩原宿の名所は、萩原川（日光川）に架かる萩原橋でした。江戸時代には欄干がある木橋は珍しく、そのような橋は、地域の名所となりました。日本全国の橋を格付けした番付表も発行されたほどです。東日本では岡崎の矢作橋、吉田（豊橋）の吉田橋、西日本では岩国の錦帯橋、近江瀬田の唐橋が有名でした。

◀写真5

番付表で紹介される萩原橋（拡大部分）  
（『大日本国橋見立相撲』より・一宮市尾西歴史民俗資料館蔵）



◀写真6

萩原橋（中島郡名所旧跡写真帖」より）



尾張の名橋としては、美濃路の庄内川に架かる枇杷島橋が知られています。尾張名所図会では、名古屋城とセットに描かれています。番付表には萩原橋も番付入りしており、尾張の名所を紹介した『名区小景』にも描かれています。萩原橋が当時、どのような橋だったかは定かではありませんが、大正時代に編纂された『中島郡名所旧跡写真帖』の写真には、立派な木の橋が写っています。

# 島々の輝き

洋画部門 一宮美術作家協会／洋画部 大島 信人

早朝である。港では大型フェリーに乗り込む前に何か買い出しをと思ったが、小さなピーナッツ売りの屋台しかなく、アテネ空港から直接ピレウスの港に来た私は水しかリュックにないのが心配だが、そのまま船に乗り込むことにした。十時間程度でサントリーニ島には到着できる。



早朝のピレウス

三十五年前、まだ高校卒業したばかりだったが三か月の欧州外遊

の最初の到着地はギリシャだった。その印象の強さに十五年後にまた舞い戻った。今回はエーゲ海の島々を航路表片手に気ままな船旅をしてみる。きっと絵画の表現が見つかるだろう。



定期船のデッキ

島と島はよくある観光クルーズ船とは別に定期航路が市バスのごとく頻繁に利用できる。世界中の旅行者もこれをよく利用しているのだが、船によっては甲板のみで格安チケットもあり、昼間であれ



サントリーニ島の断崖

ばこれが気持ちがいい。今回も夕方までには目的地に着く予定なので折りたたみ椅子を確保して風に吹かれながらアトランティス伝説の島へ出港。有名な島々の港に立ち寄りながら期待が膨らむ。ツアー観光のエーゲ海クルーズでもサントリーニはクレタ島に近くアテネ発では遠く値段も跳ね上がり特別なのだ。

夕方少し空が染まり始めたころ、それは見え始める。今まで見てきた島とは明らかに違うのはそびえ立つ断崖の上に広がる白い建物群。そして大噴火の後の出現した溶岩の塊が海からそびえている。三六〇度、海しかないこの場所に奇跡

の輝きがある。  
私のこの旅はここサントリーニから始まることになったのだが、一週間ほどの滞在をし、持って来たキャンバスいっぱいにご自分の生活や空気を夢中に映しとったものだ。



エーゲ海の白い家

時がたち現在は結婚し子供も二人あり、あつという間に二十年がたってしまった。しかしあの島の輝きの記憶はおそらく人生最高の出会いだっただろう。責任もなく自由で夢いっぱい。自分もさぞかし輝いていたのではないか。それともまた訪れ若さを取り戻してみるか。

# 茶の心実践にうつして

茶道部門 裏千家 山田 宗静

和敬清寂と云う言葉は、日本の

多くの方々が御存じですが、一字々に含まれている意味は、正に茶道の精神だと思えます。

私達茶道連盟では、年間三回の行事を開催しています。

## (一)七夕茶会

(スポーツ文化センターにて)

七月、一宮市の七夕祭に協賛して、若く美しいミス七夕や可愛らしい幼稚園児の方々に飲んで頂いています。又学校茶道の小・中学生さん達にお運びのお手伝等をして頂いています。来客の人々には遙か遠い星へ色々の願いを短冊に書いて、笹に吊るして楽しんで頂き、賑やかな、楽しい納涼茶会を開設しています。



七夕の風景

## 『七夕伝説』

日本と中国の伝説が奈良時代の頃から始まり、天の川に織姫と彦星が、年に一度会うことが出来る、有名な夢多いロマンの話です。

## (二)市民茶会 (真清田神社にて)

主に十月、市民の皆様感謝し

ながら、茶室桃丘亭では、お座敷の優雅な雰囲気を感じ、又参集殿で現代的な立礼席等二席を用意し気楽に行っています。



茶道に精進する人達 立礼卓を囲んで

## (三) 連盟茶会

(妙興報恩禅寺にて)

十一月、此の茶会は、本格的な道を修め、茶道の奥義濃茶を通して、清寂の世界に誘います。

老師様の法話で心身共に清浄にして、清々しい、露地を愛み、由緒ある明暢亭に席入りし、一盃に感謝。心が満たされ一瞬でも悟りに近づき、無我の境地を体験出来ます。

## 『妙興報恩禅寺起源』

南北朝時代(一三四八年)創建の妙心寺派の古刹。県指定の文化財が多く、歴史を感じます。



座敷の道具

重厚な建造物が多くあります。特に国指定重要文化財である勅使門正面、本堂前庭の白砂大方庭園など格式の有るお寺にて普段は中々入りにくいのですが、茶会の際には、ゆっくりと心が癒されます。

定年の無い生涯かけて楽しめる精神文化。高齢化進む今日、老若男女幅広い世代の皆さんに、一人でも多く、茶会に参加していただき、茶道具の鑑賞等、色々茶の湯に関わって、茶道の良さに関心持つて頂けたら有難い限りです。

合掌



心身を清浄にする蹲踞



# 会長就任挨拶

一宮市芸術文化協会 会長 小島 祥子

この度、加藤昌義前会長の任期

満了に伴い、会長の責務を担うことになりました。前会長の元、会

計、副会長と務めてきましたが、

このたびの大役に身のしまる思いです。どうぞ温かいご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

時がたつのは早いもので、旧一

宮市、尾西市、木曾川町の2市1町の合併を契機に各市町で活動

していた文化団体が統合し「一宮

市芸術文化協会」として発足後はや10年を過ぎました。現在、5部

20部門、加入105団体3,000

0人余で活動しており、部門ごと、または団体それぞれで、一宮市の

芸術文化の発展そして市民の皆様への文化活動に寄与すべく年

間さまざまな行事を行っており

ます。

そうした中、昨年12月10日に、

愛知県文化協会連合会西尾張部

芸術大会を、(新生)一宮市芸術文

化協会10周年記念として当市で

開催することが出来ました。準備

から当日の開催まで加入団体全

員が一丸となって大会の成功に

向けて取り組み、今までにない活

動となりました。オープニングで

は、合唱とオーケストラの合奏を、

ラストは、日舞とバレエのコラボ

と、普段ではなかなか実現しない

演目で盛り上がりました。ロビー

では呈茶席を設けて皆様に召し

上がっていただきました。何かと

慌ただしい年の瀬にもかかわらず、

他市町村の団体も含め、皆様の

支えもあり、多くの来場者を得て無事開催できました。関係の皆様

様にはこの場を借り改めてお礼申し上げます。

3年後の2021年には、一宮

市が市制100周年を迎えます。

100周年という節目の年に向

け、一宮市芸術文化協会としまし

ても、芸術、そして文化の面から

盛り上げていきたいと考えてお

りますので、加入団体の皆様のご

協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、これから

一宮市芸術文化協会にいつそ

うのお力を賜りますようお願い申

し上げ、また、皆様のます

ますのご活躍により、一宮市が今

以上に芸術文化の薫り高いまち

となりますことを祈念いたしま

してご挨拶とさせていただきます。

平成30年度

# 一宮市芸術文化協会役員

※8・9ページに加入団体一覧表を記載します。

役職名	氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	一宮市長
顧問	加藤昌義	茶道部門/同派会
会長	小島祥子	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会
副会長	不破 皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
	三輪清弘	洋画部門/一宮美術作家協会/洋画部
会計	不破 務	舞踊部門/新舞踊あすか会
監事	夫馬 勲	写真部門/一宮写真協会
	鵜飼輝子	吟剣詩舞部門/柳翠剣詩舞道会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部長
青木小代子	山本範子	川越洪太郎	安江定	川合順夫	氏名
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名

文社化部会		芸能部		音楽部						美術部					部	
華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	吹奏楽・管弦楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
	○	○				○								○		部長
野々村京子	木野文工	木全修	花柳こま希久	浅井英仁	不破清子	久野以早夫	高間加代子	森恒夫	水谷富士雄	武鹿千代	川浦碧濤	鵜飼辰郎		大島信人	丹羽桃慶	氏名
一宮華道連盟	尾西表千家木野(文)会	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴伝流大正琴稀会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 /デザイン・工芸部・彫塑部		一宮美術作家協会 /洋画部	桃墨会	団体名

(敬称略)

# 加入団体一覧

(平成30年5月現在)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所	
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
		北方俳句会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館	
		葉栗俳句教室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
		本町俳句会	毎週金曜日：午後12時30分～ 大志公民館	
		ききょうの会	毎月第1・3水曜日：午後12時30分～ 大志公民館	
		千秋俳句クラブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館	
		神山女性句会	毎月第2・4土曜日：午後1時～ 神山公民館	
		尾西牡丹句会	事務局へお問合せください。	
		尾西みなみ俳句会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター	
		仏手柑俳句会	毎月第2日曜日：午後2時30分～ 応蓮寺	
	尾西新樹会	毎月第1月曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター		
	川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
	狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館	
詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問合せください。		
	一宮漢詩清聲會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館		
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会/日本画部	事務局へお問合せください。	
		桃墨会	第1・3火曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター、毎月第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター	
		尾西作家協会	事務局へお問合せください。	
	洋画部門	一宮美術作家協会/洋画部	事務局へお問合せください。	
		尾西絵画クラブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
		水絵の会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
		グループ絵どころ三美会	毎月第1・2・3木曜日：午後1時～ 小信中島公民館	
		楽しく描こう会	毎月第2・4土曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター	
		尾彩	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター	
		ポピーの会	毎週水曜日：午前9時30分～ 午後1時30分～ 講師宅	
		尾西ガリバンパンの会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
		パレット会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター	
		木曾川絵画同好会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館	
		ブルシャンプルー	毎月第1・3木曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター	
		イエローオーカー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター	
		山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター	
		あざみの会	毎月第1・3水曜日：午前 一宮スポーツ文化センター	
		花畑	毎月第2水曜日：午前9時30分～ 北方公民館	
		ゆずの会	毎月第1・3金曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
		びくーるアートサークル	毎月第2金曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター	
		グループ創	毎月第2・3・4火曜日：午後6時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	アクアマリン	毎月第1・3火曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター		
	デザイン・工芸彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。	
		陶順会	毎週月・火・金・土曜日：午前9時～ 朝日西つどいの里陶芸棟	
		尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午後1時30分～ 尾張一宮駅前ビル（iビル）	
		尾西面打会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 旧湊屋文右衛門邸湊屋	
	書部門	一面会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ アイプラザ一宮	
		公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。	
	写真部門	麗筆会	事務局へお問合せください。	
		一宮写真協会	事務局へお問合せください。	
	音楽部	邦楽部門	一宮三曲協会	事務局へお問合せください。
			三山会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅
里音会			毎週土曜日：午後 講師宅	
すみれ箏の会			(随時) 講師宅	
美友会			(随時) 講師宅	

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所	
音 楽 部	邦 楽 部 門	藤 乃 会	(随時) 講師宅	
		三 味 線 民 謡 薫 世 智 会	毎月第1・3木曜日:(民謡)、第2・4木曜日:(三味線) 小信中島公民館	
		津 軽 三 味 線 恋 糸	(随時) 講師宅	
	謡 曲 部 門	一 宮 三 味 線 川 崎 会	毎週金曜日 講師宅	
		相 生 ・ 中 日 文 化 会	毎月第2・4木曜日:午後6時~ 名鉄百貨店一宮店	
		竹 石 会	毎月第1・3金曜日:午後1時~ 真清田神社	
		誠 諷 ・ 緑 風 会	毎月第1・3水曜日:午後1時30分~ 島村公民館、第2・4月曜日:午前9時30分~ 河端公民館、第2・4金曜日:午後1時~ ききょう会館	
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日:午後1時~ 宮西公民館	
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日:午後6時30分~ 丹陽公民館	
		紅 韻 会	毎週月・木・土曜日:午前10時~ 講師宅	
	吟 剣 詩 舞 部 門	一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。	
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日:午後7時~ 尾西生涯学習センター、土曜日:午前10時~ 尾西ふれあい広場	
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	毎月第1・3金曜日:午後1時~ 小信中島つどいの里、毎月第2・4金曜日:午後1時~ 小信中島公民館	
		柳 翠 剣 詩 舞 道 会	毎週金曜日:午後1時~ 小信中島公民館 他	
		山 瑩 会	毎週月・水・金曜日 山瑩会教室 他	
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。	
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日:午後6時45分~ 一宮スポーツ文化センター カトリック一宮教会	
		佳 富 士 会	毎月第2・4土曜日:午後1時~ 尾西生涯学習センター	
	器 楽 部 門	琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	毎週金・土曜日:午後1時~ 尾西文化広場	
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火曜日:午前10時~ 三条・渡由宅、金曜日:午前10時~ 開明公民館	
		安 美 & コ ン プ リ オ	(随時) 講師宅	
		木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日:午後7時~ 木曾川公民館	
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	特 定 非 営 利 活 動 法 人 旭 雅 楽 会	毎月1、15、28日及び第2・4日曜日:午後6時~ 尾張猿田彦神社	
		一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日:午後5時~ 一宮スポーツ文化センター	
		尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日:午後5時~ 尾西生涯学習センター	
		一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	毎月第2土曜日:午後3時~ 中日新聞一宮支局、第4日曜日:午後1時~ 木曾川文化会館 他	
	芸 能 部	舞 踊 部 門	き そ が わ ポ ッ プ ス バ ン ド	毎月第2~5日曜日、第1土曜日:午後5時30分~ 木曾川公民館または木曾川体育館
			一 宮 舞 踊 協 会	事務局へお問合せください。
			新 舞 踊 あ す か 会	毎週水曜日:午後6時~ 起つどいの里
坂 東 流 百 喜 久 会			木曜日:午前9時~ 講師宅または尾西文化広場	
坂 東 流 百 の 会		火曜日:午後 講師宅または尾西文化広場		
社 会 部	茶 道 部 門	扇 寿 々 会	毎週火曜日:午後 大志公民館	
		芳 美 会	毎週月曜日:午前9時30分~ 午後5時30分~ 向山公民館	
		一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。	
		同 派 会	事務局へお問合せください。	
		弥 生 会	事務局へお問合せください。	
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。	
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。	
		表 千 家 尾 西 玉 香 会	火曜日:午後2時~ 講師宅、金曜日:午後1時30分~ 尾西生涯学習センター	
		尾 西 表 千 家 木 野 ( 文 ) 会	毎週土曜日:午後2時~ 講師宅	
		尾 西 緑 寿 会	月3回 金曜日:午後4時~、土曜日:午後1時30分~ 講師宅	
		尾 西 清 真 会	毎週火曜日 講師宅	
華 道 部 門	裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中	毎週月・水・土曜日 講師宅、日曜日・第2金曜日・第3土曜日 たんぼほランドハウス		
	松 風 会	毎週水曜日:午後5時~ 講師宅		
	裏 千 家 白 河 社 中	(随時) 講師宅		
	裏 千 家 住 田 社 中	(随時) 講師宅		
	一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。		
	池 坊 尾 西 玉 香 会	月3回 火曜日:午後 講師宅		
	尾 西 小 原 流 寛 社 中	月3回 金曜日:午後4時~、土曜日:午後1時30分~ 講師宅		
	尾 西 池 坊 木 野 ( 文 ) 会	土曜日:午後2時~ 講師宅		
	小 原 流 紫 苑 会	毎週木曜日:午前10時~、金曜日:午後6時~、土曜日:午後2時~ 講師宅		
	尾 西 花 紘 会	毎月第4日曜日:午前10時~ 尾西生涯学習センター		

# 文化情報



「投網」  
青木尚子

## 《市および市内公共施設の催し予定》

※一宮市博物館・三岸節子記念美術館  
○入館は午後4時30分まで  
○月曜休館(休日の場合は開館)、休日  
の翌日休館(8月12日(日)は開館)

### 一宮市博物館

☎(46)3215

企画展「2018 一宮美術作家協会展」

日時 ● 9月1日(土)～9月16日(日)

内容 ● 一宮美術作家協会会員が、日本画・洋画・彫刻・立体・デザイン・工芸の力作を展示します。

観覧料 ● 一般 2000円

高大生 1000円  
小中生 500円

### 三岸節子記念美術館

☎(63)2892

開館20周年記念・作家活動20周年記念特別展「なかやみわ 絵本の世界展」

日時 ● 6月30日(土)～8月19日(日)

内容 ● 絵本作家のなかやみわさんが描く、やさしい線で仕上げられた原画の繊細なタッチをお楽しみください。

観覧料 ● 一般 8000円

高大生 4000円  
中学生以下・市内65歳以上 無料

### 尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

休館のお知らせ

平成31年6月7日(金)まで(予定)

※休館中のお問い合わせ  
月曜日から土曜日(祝祭日を除く)  
午前9時から午後5時まで

### 一宮市観光協会

☎(28)9131

「第63回おひもの感謝祭 一宮七夕まつり」

日時 ● 7月26日(木)～7月29日(日)

内容 ● 各種パレード、ステージイベントなど(入場料無料)

会場 ● 市内一円

「濃尾大花火」

日時 ● 8月14日(火)

午後7時30分～午後8時45分  
※順延の場合8月16日(木)

内容 ● 尾張地方随一の二尺玉など5000発の花火大会

会場 ● 濃尾大橋北木曾川河畔

## 加入団体の催し

### 「一宮市尾西俳句教室」

【問合せ先 尾西俳句会】

☎(68)2397

日時 ▼ 6月16日(土)・7月21日(土)

8月18日(土) 午後1時30分  
会場 ▼ 尾西生涯学習センター

内容 ▼ 当季雑詠4句課題1句を尾西俳句教室委員が指導します。

参加料 ▼ 無料 申込み ▼ 当日直接会場

### 「漢詩講読会」

【問合せ先 一宮漢詩講読會】

☎(78)7953

日時 ▼ 6月23日(土)・7月28日(土)

午前10時～

会場 ▼ 中央図書館

内容 ▼ 漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方にも分かりやすく「唐詩三百首」を解読します。(初心者歓迎)

講師 ▼ 三島徹氏(東洋文化振興会会長)

参加料 ▼ 月2,000円

申込み ▼ 当日直接会場

### 「市民川柳教室」

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)3479

日時 ▼ 6月24日(日)・7月22日(日)

8月26日(日) 午後1時～

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料 申込み ▼ 当日直接会場

### 「市民俳句教室」

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 ▼ 6月24日(日)・7月22日(日)・8月26日(日) 午後1時～

月26日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター  
内容▼当季雑詠3句を一宮市民俳句  
教室委員が指導します。  
(初心者歓迎)

参加料▼無料 申込み▼当日直接会場

### 『一宮市民吹奏楽団 レインボーコンサート2018』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎070(5511)3112

日時▼7月24日(日) 午後1時30分～

3時30分(開場は30分前)

会場▼一宮市民会館

内容▼吹奏楽のオリジナル曲と平成  
のヒット曲を演奏します。

入場料▼500円 前売400円

### 『漢詩創作教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼7月3日(火)・9月4日(火)

午前10時～

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削  
の検討を会員間で行います。  
(初心者歓迎)

参加料▼年3,000円

申込み▼当日直接会場

### 『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月8日(日)・8月12日(日)

9月9日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作指  
導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料 申込み▼当日直接会場

### 『100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月20日(金)～22日(日)

午前10時～午後5時(22日は  
午後3時50分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼100人の会員の作品を展示  
します。

入場料▼無料

### 『墨石祇園祭保存会 墨石祇園祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月4日(土) 午後7時～

会場▼石刀神社(浅井町黒石)

内容▼わら舟を乗せた山車に提灯を  
飾りつけ、お囃子とともに練  
り歩きます。

### 『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月5日(日) 午前10時～

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市の有形民俗文化財である島

村地区の文楽人形の虫干しを  
します。

### 『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼8月11日(土)・9月8日(土)

午後1時～

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優  
秀作を記録に残します。  
(初心者歓迎)

参加料▼無料

### 『瀬部山車・白台祭保存会白台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼8月18日(土) 午後6時30分～

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかけた、笛  
や太鼓のお囃子に合わせて境  
内をねり歩きます。

★**「宮七々まつり協賛事業」**  
7月26日(木)～29日(日)

### 『狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼7月14日(土)

午後1時～4時30分

会場▼葉栗公民館

対象▼どなたでも  
参加料▼500円

### 『第46回学生書道展・第25回書 道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎(77)1238

日時▼7月14日(土) 午後1時～4時

15日(日) 午前10時～午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位入賞作品、役員と指導者  
作品を展示します。

入場料▼無料

### 『舞楽奉納』

【問合せ先 真清伶人会】

☎(73)8970

日時▼7月28日(土) 午後7時～8時

会場▼服織神社(真清田神社境内)

観覧料▼無料

### 『写真コンテスト』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月28日(土)・29日(日)

午前10時30分～午後2時

会場▼尾張一宮駅・名鉄一宮駅周辺  
～真清田神社迄の商店街

対象▼どなたでも 参加料▼無料

### 『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎(45)4887

日時▼7月28日(土)・29日(日)  
午前10時～午後3時  
会場▼一宮スポーツ文化センター  
呈茶券▼550円  
前売券 500円

### 『短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570  
日時▼7月29日(日)

午後1時～4時30分

会場▼一宮スポーツ文化センター  
対象▼どなたでも  
参加料▼500円

### 『セタまつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎070(5511)3112  
日時▼7月29日(日)

午後4時30分～5時30分

会場▼真清田神社特設舞台  
観覧料▼無料

### 『手踊り』

【問合せ先 宮後住吉踊保存会】

☎(45)7300  
日時▼7月29日(日)

午後6時30分～7時

会場▼真清田神社特設舞台  
観覧料▼無料

## いちのみや文芸 2018 作品募集

### 1、募集種目

- ① 随想・随筆 一人1編  
(本文は、4000字詰  
原稿用紙3枚以内)
- ② 現代詩 一人1編  
(本文は、4000字詰  
原稿用紙3枚以内)

- ③ 漢詩 絶句、一人2首以内
- ④ 短歌 一人8首以内  
(題を付けること)
- ⑤ 俳句 一人10句以内  
(新かな、旧かな使い  
を明記のこと)

- ⑥ 川柳 一人10句以内
- ⑦ 狂俳 一人10句以内  
(俳号を付けること)

### 2、応募上の注意

- ① 応募は、一人3種目以内と  
します。
- ② 用紙は、A4判の4000字  
詰原稿用紙とし、種目ごと  
に別紙を用いてください。  
パソコンなどを使用する場  
合は、A4判白無地の用紙  
を横長に用い、20字×20行  
で印字してください。
- ③ 原稿は縦書きとし、文字は

正確に読みやすく書いてく  
ださい。

- ④ 原稿には、欄外に種目を記  
入してください。その他に  
氏名、号(必要に応じて)、  
年齢、住所(番地まで正確  
に)、郵便番号、電話番号を  
記入してください。なお、  
氏名および号には振り仮名  
をつけてください。

- ⑤ 原稿は文字のみとし、挿絵  
や写真等は掲載しません。
- ⑥ 応募原稿は返却しません。

### 3、応募資格

市内在住・在勤または一宮  
市芸術文化協会加入団体に所  
属している人

### 4、作品の採否

応募作品の採否については、  
編集委員が選者となり、編集  
委員会が決定します。

### 5、応募方法

〒491-8501(住所不要)  
一宮市芸術文化協会事務局  
『いちのみや文芸』係(市教育  
委員会生涯学習課内)までお  
送りください。

### 6、発刊予定

平成30年7月2日(月)必着  
平成30年10月20日(土)  
1冊800円(予定)



一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。

## いちのみや 民俗芸能のつどい

入場無料

8/19 正午～日 一宮市民会館

### 【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、ばしょう踊保存会、真清伶人会、  
宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、機織唄保存会、  
馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・臼台祭保存会

【題 字】武 山 翠 屋  
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)  
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号  
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213